

**2-Methyl-2-Butene**

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

項目1. 化学物質等及び会社情報**製品情報**

製品名 : 2-Methyl-2-Butene
材質 : 1083996, 1021754, 1021753, 1021755, 1034801, 1030212
使用 : 中間体
会社名 : シェブロンフィリップス化学株式会社
Specialty Chemicals
9500 Lakeside Blvd.
The Woodlands, TX 77381

局部: : See Company Address

緊急連絡電話番号:**健康:**

866. 442. 9628 (北米)
1. 832. 813. 4984 (国外)

輸送:

CHEMTREC 800. 424. 9300 または 703. 527. 3887 (国際電話)
アジア : CHEMWATCH (+612 9186 1132) 中国 : 0532 8388 9090
メキシコ CHEMTREC 01-800-681-9531 (24時間)
南米 SOS-Cotec ブラジル国内 : 0800. 111. 767 ブラジル国外 : +55. 19. 3467. 1600
アルゼンチン : +(54)-1159839431
ヨーロッパ : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
オーストリア : VIZ +43 1 406 43 43 (年中無休)
ベルギー : 070 245 245 (年中無休)
ブルガリア : +359 2 9154 233
クロアチア : +3851 2348 342 (年中無休)
キプロス : 1401

チェコ : Toxicological Information Center +420 224 919 293、+420 224 915 402
デンマーク : Danish Poison Center (Giftlinjen) : +45 8212 1212
エストニア : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
フィンランド : 0800 147 111 09 471 977 (24時間)
フランス : ORFILA number (INRS) : + 33 (0) 1 45 42 59 59 (年中無休)
ドイツ : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
ギリシャ : (0030) 2107793777 (年中無休)
ハンガリー : +36-80-201-199 (年中無休)
アイスランド : 543 2222 (年中無休)

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

アイルランド : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
 イタリア : ミラノ毒センター - ニグアルダ・カ・グランデ病院 電話番号 +39 02 66101029; ローマ毒物センター - 「Agostino Gemelli」総合病院、臨床毒物学サービス 電話番号 +39 06 3054343; ローマ毒物センター - バンビーノ ジェス小児科病院 電話 +39 06 68593726; ローマ毒物センター - 「ウンベルト 1 世」ポリクリニック 電話 +39 06 4997 8000; フォッジャ毒物センター - リウニティ大学病院 電話番号 +39 0881 732326; ナポリ毒物センター - 「アントニオ カルダレッリ」病院 電話番号 +39 081 7472870; フローレンス毒物センター - カレッジ大学病院 電話番号 +39 055 7947819; 毒物センター パヴィア - IRCCS サルバトーレ マウジェリ財団 電話 +39 0382 24444; ベルガモ毒物センター - 「教皇ヨハネ二十三世」病院 電話 800 883 300; POISON CENTER VERONA - 統合大学病院 Tel. 800 011 858;
 ラトビア : State Fire and Rescue Service、電話番号 : 112、Toxicology and Sepsis Clinic Poisoning and Drug Information Center (Hipokrata 2, Riga, Latvia, LV-1038)、電話番号 : +371 67042473 (24時間)
 リヒテンシュタイン : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
 リトアニア : +370 (85) 2362052
 ルクセンブルク : (+352) 8002 5500 (年中無休)
 マルタ : +356 2395 2000
 オランダ : NVIC : +31 (0)88 755 8000
 ノルウェー : 22 59 13 00 (年中無休)
 ポーランド : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)
 ポルトガル : CIAV 電話番号 : +351 800 250 250
 ルーマニア : +40213183606
 スロバキア : +421 2 5477 4166
 スロベニア : 電話番号 : 112
 スペイン : Spanish Poison Centre、緊急電話番号 : +34 91 562 04 20 (年中無休)
 スウェーデン : 112 - 毒物に関する情報の問い合わせ

SDSを作成した組織 : 製品安全性および毒性グループ
 電子メールアドレス : SDS@CPChem.com
 ウェブサイト : www.CPChem.com

2. 危険有害性の要約**物質または混合物の分類**

JIS Z7252-2019 及び JIS Z7253-2019 に 従った GHS 分類及びラベル表示 (GHS 2015)

分類

: 引火性液体, 区分2
 急性毒性, 区分4, 経口
 生殖細胞変異原性, 区分2
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露), 区分3, 麻酔作用
 誤えん有害性, 区分1
 水生環境有害性 短期 (急性), 区分2
 水生環境有害性 長期 (慢性), 区分2

ラベル付け

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

シンボル

:



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H225: 引火性の高い液体及び蒸気。
 H302: 飲み込むと有害。
 H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
 H336: 眠気又はめまいのおそれ。
 H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。
 H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

: 安全対策:

P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P233: 容器を密閉しておくこと。
 P240: 容器を接地しアースをとること。
 P241: 防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。
 P242: 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243: 静電気放電に対する措置を講ずること。
 P261: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 P264: 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P273: 環境への放出を避けること。
 P280: 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

P301 + P310: 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
 P303 + P361 + P353: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
 P308 + P313: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。
 P331: 無理に吐かせないこと。
 P370 + P378: 火災の場合: 消火するために乾燥砂、粉末消火剤(ドライケミカル)又は耐アルコール性フォームを使用すること。
 P391: 漏出物を回収すること。

保管:

P403 + P233: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P403 + P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄:

P501: 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

安全データシート

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8改訂日 2026-02-19

3. 組成及び成分情報

別名 : 2-MB-2
beta-Isoamylene
Isoamylene

分子式 : C5H10

化学名	CAS番号	含有量	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
2-methyl-2-butene	513-35-9	88 % - 95%	2-19
2-methyl-1-butene	563-46-2	5 % - 12%	2-19

4. 応急措置

一般的アドバイス : 危険域から避難させる。 この安全データシートを担当医に見せる。 本物質を飲み込んだり吐いたりした場合、生命にかかわる可能性のある深刻な肺炎を引き起こすことがある。

吸入した場合 : 大量に曝露した場合は、医師の手当てを受ける。 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。

皮膚に付着した場合 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。 衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。

眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。 コンタクトレンズをはずす。 損傷していない眼を保護する。 洗浄中は眼を大きく開ける。 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合 : 気道を確保する。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。 直ちに被災者を病院に連れて行く。

5. 火災時の措置

引火点 : -45-C (-49-F)
方法: セタフラッシュ引火点試験装置

自然発火温度 : データなし

適切な消火剤 : 耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素 (CO2)、粉末消火剤、

使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水、

特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止

整理番号:1000000139054/15

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

すること。

- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
- 詳細情報 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する。密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
- 火災および爆発の防止 : 火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。防爆装置でのみ使用する。炎、熱および発火源から遠ざける。
- 危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する予防措置 : 保護具を使用する。十分な換気を確保する。付近の発火源となるものを取り除く。安全な場所に避難する。蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 除去方法 : 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。蒸気/粉じんを吸い込まない。曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。皮膚や眼への接触を避けること。個人保護については項目 8 を参照する。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。静電気放電に対して予防処置手段をとること。作業室の換気や排気を十分に行う。内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 火災及び爆発の予防 : 火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。防爆装置でのみ使用する。炎、熱および発火源から遠ざける。

保管

- 保管場所および容器の必要 : 禁煙。容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。

安全データシート	
2-Methyl-2-Butene	
版番号 1.8	改訂日 2026-02-19
条件	一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。 ラベルの予防措置を遵守する。 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
使用	: 中間体
8. ばく露防止及び保護措置	
設備対策 大気中濃度を曝露ガイドライン/制限未満に制御するよう適切な換気を行うこと。 工学的制御の設計や個人用保護具の選択の際には、本物質の潜在的危険性（第2節参照）、適用される曝露限度、作業活動、および作業場にあるその他の物質を考慮すること。 工学的制御または作業方法が、本物質の有害レベルにおける曝露の予防に十分でない場合には、以下の個人用保護具を使用することが推奨される。 保護は通常、限定的な時間または一定の状況下に対して提供されるものであるため、ユーザは装置に付属するすべての指示事項および制限事項を読んで理解しておくこと。	
保護具	
呼吸用保護具	: 通常の大気圧下において最小酸素含有量の19.5容量%を維持するために、通気制御または工学的制御が適切でない場合は、NIOSH認定送気呼吸器が好適です。 有害レベルの空中浮遊物への暴露が起こる場合は、以下のようなNIOSH認定の呼吸用保護具が好適です。 抑制できない放出やエアロゾル化の可能性がある場合、暴露レベルが未知である場合、または濾過式呼吸用保護具では十分な保護が行えない状況である場合は、陽圧の給気式呼吸用保護具が好適です。 .
手の保護具	: 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。 手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。 また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。 手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えないといけない。 .
眼の保護具	: 純水入りの眼洗浄ボトル。 密着性の高い安全ゴーグル。
皮膚及び身体の保護具	: 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。 必要に応じて着用: 難燃静電気保護服。 作業者は、静電気防止履物をはく。 .
衛生対策	: 使用中は飲食しないこと。 使用中は禁煙。 休憩前や終業時には手を洗う。 .
9. 物理的及び化学的性質	
基礎物理および化学特性の情報	
外観	
形状	: 液体
物理状態	: 液体
整理番号:100000013905	6/15

安全データシート	
2-Methyl-2-Butene	
版番号 1.8	
改訂日 2026-02-19	
色	: 無色
臭い	: 刺激が少ない
安全性データ	
引火点	: -45-C (-49-F) 方法: セタフラッシュ引火点試験装置
爆発範囲の下限	: 1.4 %(V)
酸化特性	: H e T
自然発火温度	: データなし
分子式	: C5H10
分子量	: 70.15 g/mol
pH	: 適用されない
流動点	: データなし
沸点／沸騰範囲	: 38.6-C (101.5-F)
蒸気圧	: 14.30 PSI で 37.8-C (100.0-F)
比重	: 0.67 で 15.6 -C (60.1 -F)
水溶性	: 無視できるほど僅か
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
動粘度 (動粘性率)	: 0.29 mm2/s で 20-C (68-F)
相対ガス密度	: データなし
蒸発速度	: 1
揮発率	: > 99 %
10. 安定性及び反応性	
反応性	: 推奨保管条件下では安定。
整理番号:100000013905	
7/15	

安全データシート	
2-Methyl-2-Butene	
版番号 1.8	改訂日 2026-02-19
化学的安定性 危険有害反応可能性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触禁止物質 危険有害な分解生成物 その他のデータ	この材料は、通常の周囲温度と予想されるストレージの下に安定したと見なされ、温度や圧力の条件を処理する。 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。 詳細情報: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 危険有害反応可能性: 蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。 熱、炎、火花。. 酸素や強い酸化剤（塩素酸塩、硝酸塩、過酸化物など）と反応することがある。. 炭素酸化物 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。.
11. 有害性情報	
急性毒性（経口） 急性毒性（吸入） 急性毒性（経皮） 皮膚刺激性 眼への刺激	2-methyl-2-butene LD50: 1,000 – 1,700 mg/kg 種: ラット 2-methyl-2-butene LC50: > 175 mg/l 曝露時間: 4 HR 種: ラット 試験環境: 蒸気 2-methyl-2-butene LD50: > 2,000 mg/kg 種: ラット 2-methyl-2-butene 皮膚刺激性 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。.
整理番号:100000013905	8/15

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

2-methyl-2-butene

: 眼への刺激なし

蒸気は、眼、呼吸器系および皮膚に刺激を与える可能性がある。

感作

2-methyl-2-butene

: 動物実験では感作性なし。

反復投与毒性

2-methyl-2-butene

: 種: ラット, 男性および女性
性: 男性および女性
投与経路: 吸入
投与量: 580, 2000, 7000 ppm
曝露時間: 4 wk
曝露回数: 6 h/d, 7 d/wk
NOEL 無影響濃度 (量): 580 ppm
方法: OECD テストガイドライン 423

in vitro での遺伝毒性

2-methyl-2-butene

: 試験タイプ: Ames 試験
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 480
結果: 陰性

in vivoでの遺伝毒性

2-methyl-2-butene

: 試験タイプ: マウス小核試験
種: ラット
細胞型: 骨髄
投与経路: 吸入
曝露時間: 6 h/d 2d
方法: OECD 試験ガイドライン 474
結果: 陽性

生殖毒性

2-methyl-2-butene

: 種: ラット
性: オスおよびメス
投与経路: 吸入
投与量: 580, 2000, 7000 ppm
曝露回数: 6 h/d, 7 d/wk
試験期間: 4 wks
方法: OECD テストガイドライン 423
NOAEL Parent: 7000 ppm
NOAEL F1: 7000 ppm
異状は認められず

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

発生毒性

2-methyl-2-butene : 種: ラット
投与経路: 吸入
投与量: 500, 2000, 8000 ppm
曝露時間: 6 h/d
試験期間: Days 5 -21
方法: OECD ガイドライン 414
NOAEL Teratogenicity: 8000 ppm
NOAEL Maternal: 8000 ppm
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。
動物実験では退治発育への影響は無かった。

**2-Methyl-2-Butene
誤えん有害性**

: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。.

CMR 影響

2-methyl-2-butene : 発がん性: 動物実験において発がん性の限定的な証拠がある
生殖細胞変異原性: In vitro試験で、突然変異誘発性が示された
催奇形性: 動物実験では退治発育への影響は無かった。
生殖毒性: 動物実験では繁殖力への影響は無かった。

**2-Methyl-2-Butene
詳細情報**

: 過剰暴露により起こりうる症状には、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐がある。 . 溶剤は皮膚を脱脂することがある。 .

12. 環境影響情報**魚毒性**

2-methyl-2-butene : LC50: 4.99 mg/l
曝露時間: 96 HR
種: Oncorhynchus mykiss (ニジマス)
半静止試験 方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性

2-methyl-2-butene : EC50: 3.84 mg/l
曝露時間: 48 HR
種: Daphnia magna (オオミジンコ)
止水式試験 方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類に対する毒性

2-methyl-2-butene : ErC50: 13.2 mg/l
曝露時間: 72 HR
種: Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

止水式試験 方法: OECD 試験ガイドライン 201

生分解性

2-methyl-2-butene : 好気性
7 %
試験期間: 28 TEN
方法: OECD 試験ガイドライン 301D
本物質の即時的な生物分解性は期待できない。

PBT アセスメントの結果

2-methyl-2-butene : 分類されていない PBT (難分解性で生物蓄積性の有毒) 物質,
分類されていない vPvB (極めて難分解性で高い生物蓄積性)
物質

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環
境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。、 長期
継続的影響によって水生生物に毒性。

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性)
2-methyl-2-butene : 水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期 (慢性)
2-methyl-2-butene : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

13. 廃棄上の注意

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

本物質は意図された目的に使用し、可能であれば再生利用すること。廃棄する必要がある場合、本物質は、RCRA (40 CFR 261) に基づき米国EPAに定義された、またはその他の州や地方自治体により定義された、有害廃棄物の基準が適用されることがある。適切な判断を下すために、所定の物理的性質の測定および規制対象物質の分析が必要な場合がある。本物質が有害廃棄物として分類されている場合には、連邦法により認可済みの危険廃棄物処理施設にて廃棄することが義務付けられている。

製品 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。 認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする 製品入り容器と同様に処分する。 空の容器を再使用しない。 空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

安全データシート	
2-Methyl-2-Butene	
版番号 1.8	改訂日 2026-02-19
14. 輸送上の注意	
ここに示される輸送の説明はバルク輸送に関するもののみであり、それ以外の包装済み製品輸送には適用されない（規制の定義を参照）。 他の輸送説明要件（専門的名称など）については、米国内外モードに特有、および量に特有の、適切な危険物取扱規定を調べる。従って、ここに示す情報は本物質に対する船荷証券輸送記述に必ずしも一致しないことがある。物質の引火点は、SDSと船荷証券との間にわずかな違いがあることがある。	
US DOT（米国運輸省） UN1993, FLAMMABLE LIQUIDS, N. O. S., (2-METHYL-2-BUTENE, 2-METHYL-1-BUTENE), 3, II	
IMO/IMDG（国際海洋危険物） UN1993, FLAMMABLE LIQUID, N. O. S., (2-METHYL-2-BUTENE, 2-METHYL-1-BUTENE), 3, II, (-45 -C c.c.), 海洋汚染物質, (2-METHYL-2-BUTENE)	
IATA（国際航空輸送協会） UN1993, FLAMMABLE LIQUID, N. O. S., (2-METHYL-2-BUTENE, 2-METHYL-1-BUTENE), 3, II	
ADR（危険物の道路輸送に関する欧州協定） UN1993, FLAMMABLE LIQUID, N. O. S., (2-METHYL-2-BUTENE, 2-METHYL-1-BUTENE), 3, II, (D/E), 環境危険有害性, (2-METHYL-2-BUTENE)	
RID（危険物の国際輸送に関する欧州規則） 33, UN1993, FLAMMABLE LIQUID, N. O. S., (2-METHYL-2-BUTENE, 2-METHYL-1-BUTENE), 3, II, 環境危険有害性, (2-METHYL-2-BUTENE)	
ADN（危険物の国際内陸水路輸送に関する欧州協定） UN1993, FLAMMABLE LIQUID, N. O. S., (2-METHYL-2-BUTENE, 2-METHYL-1-BUTENE), 3, II, 環境危険有害性, (2-METHYL-2-BUTENE)	
IMO認定機器による海上大量輸送	
15. 適用法令	
国内法規制 毒物及び劇物取締法 ： 非該当 労働安全衛生法	
整理番号:100000013905	12/15

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

名称等を通知すべき危険物及び有害物

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

製造の許可を受けるべき有害物

表示要求の対象となる危険物質

有機溶剤中毒予防規則

鉛中毒予防規則

製造等が禁止される有害物

特定化学物質障害予防規則

四アルキル鉛中毒予防規則

: 非該当

: 非該当

健康障害防止指針公表物質

化審法

: 特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

化学物質排出把握管理促進法

: 非該当

その他の規制

消防法

高圧ガス保安法

火薬類取締法

船舶安全法

航空法

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

既存化学物質リスト

欧州 REACH	:	インベントリーに従わない
スイス CH INV	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
アメリカ合衆国（米国） TSCA	:	TSCAインベントリーのActiveリストに収載されている、または準拠している
カナダ DSL	:	本製品中の成分は全てカナダDSLリストに収載されている。
オーストラリア AIIC	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
ニュージーランド NZIoC	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
日本 ENCS	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
韓国 KECI	:	この製品に含まれる1つまたは複数の物質は、登録されなかったか、登録するように通知されなかったか、あるいはK-REACH規則に従ってCPCChemによる登録が免除されなかった。
フィリピン PICCS	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
台湾 TCSI	:	インベントリーに収載されている、または準拠している
中国 IECSC	:	インベントリーに収載されている、または準拠している

16. その他の情報

詳細情報

レガシー SDS 番号 : 110000

前バージョンからの大幅な変更は、余白に強調表示されている。 本バージョンは以前のすべてのバージョンと差し替えられる。

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。 記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この MSDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

安全データシートで使用するキーまたは凡例から略語や頭字語まで			
ACGIH	米国産業衛生専門家会議	LD50	50%致死量
AIIC	オーストラリア工業化学品インベントリー	LOAEL	最小有害影響量
DSL	カナダ国内物質リスト	NFPA	米国消防庁
NDSL	カナダ非国内物質リスト	NIOSH	米国国立労働安全衛生研究所
CNS	中枢神経系	NTP	米国国家毒性プログラム

2-Methyl-2-Butene

版番号 1.8

改訂日 2026-02-19

CAS	化学情報検索サービス機関	NZIoC	ニュージーランド化学物質台帳
EC50	有効濃度	NOAEL	無毒性量
EC50	50%影響濃度	NOEC	無影響濃度
EGEST	EOSCA一般暴露シナリオツール	OSHA	労働安全衛生庁
EOSCA	欧州油性化学物質協会 (European Oilfield Specialty Chemicals Association)	PEL	許容暴露限界
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー	PICCS	フィリピン商業化学物質インベントリー
MAK	ドイツ最大許容濃度	PRNT	推定無毒性
GHS	世界調和システム	RCRA	資源保全再生法
>=	以上	STEL	短時間暴露限界
IC50	50%阻害濃度	SARA	スーパーファンド改正・再承認法
IARC	国際癌研究機関	TLV	限度値
IECSC	中国現有化学物質名録	TWA	時間加重平均
ENCS	日本既存化学物質インベントリー	TSCA	有害物質規制法
KECI	韓国既存化学物質目録	UVCB	組成が不明または不定の構成物質、複雑な反応生成物及び生体物質
<=	以下	WHMIS	作業場危険有害性物質情報システム
LC50	50%致死濃度	ATE	急性毒性推定値: